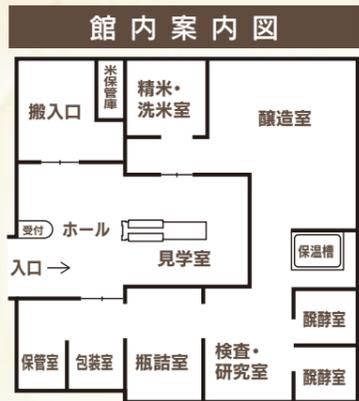




どぶろく工房が
新しく生まれ変わりました

北秋田市マタギの里 どぶろく工房 完成



打当温泉マタギの湯の旧館に「北秋田市マタギの里どぶろく工房」が新設され、4月6日に完成披露を行いました。

どぶろく工場の床面積は、これまでの約2倍の137平方メートルとなり、製造量も2倍の年間1200リットルを目標としています。

以前は生産が追い付かず、度々品切れになっていましたが、どぶろく工房を新設したことにより、生産量の増加が見込まれるほか、マタギの湯の宿泊客や来訪者への販売がスムーズになることが期待されます。

また、どぶろく製造を見学できるようガラス張りになっており、ふだんは見ることが出来ない「どぶろくの仕込みの様子から、瓶づ



「彩子隊員から一言」

初めての作業ということもあり、少しの不安がありますが、どぶろく製造に携わることができ喜びを感じています。今回仕込んだどぶろくが、どのように育っていくのか楽しみです。

めままでの工程」を見学することができます。

今回の初仕込み作業から、新たな担い手として地域おこし協力隊の高橋彩子さんが加わりました。

この日は、作業を担当する2人と高橋さんの3人が、蒸した地元産のあきたこまちに米麹と酵母を混ぜ合わせ、どぶろく50リットル分の仕込みを行いました。

この日仕込んだどぶろくは、5月上旬に行う予定の試飲会で披露されることとなっています。



北秋田市 × Hello Kitty ふるさと大使就任式

サンリオの人気キャラクターである「ハローキティ」の北秋田市ふるさと大使就任式が、4月15日に市民ふれあいプラザで行われ、多くの家族連れに温かく迎えられ、本市の魅力を発信することを誓いました。

北秋田市ふるさと大使は、本市の魅力や取り組みを情報発信する活動を通じて、本市の知名度向上とイメージアップにつなげ、地域振興と市民が誇れるまちづくりを寄与することを目的に委嘱するものです。

ハローキティは、今なお国内外で幅広い年代から愛され、支持も厚く、発信力も高いキャラクターで、市町村とのコラボレーションは、東北では初めてとなります。

この日行われた就任式では、津谷市長がハローキティにふるさと大使の委嘱状と名刺を手渡し、「キティちゃんと一緒に夢のあるまちづくりを励んでいきたい。みんなと一緒に北秋田市を盛り上げていきたいと思います」と今後のふるさと大使の活躍に期待を寄せました。

また、株式会社サンリオの谷村和明取締役が「これからは皆さんの身近な存在として、キティちゃんがたくさん触れ合ってもらいたい」とあいさつを述べました。

就任式の後は、ハローキティのダンスショーと握手会が行われ、多くの親子連れが握手や記念撮影でキティちゃんと触れ合い、楽しい時間を過ごしました。



ご当地デザイン

